

カムイワッカ湯の滝利活用検討事業（旧：カムイワッカ湯の滝1の滝以奥再利用検討事業）

計画の主な変更内容

i

斜里町
知床斜里町観光協会

1. 事業名の変更

項目	変更前	変更後
3	カムイワッカ湯の滝1の滝以奥 再利用検討事業	カムイワッカ湯の滝 利活用検討事業

< 理由 >

- ・ 下記3に記載の、検討対象区域の変更により、「1の滝以奥」ではなくなった。
- ・ 「再利用」という言葉への違和感の指摘があり、「利活用」と修正。

2. 事業期間の変更

項目	変更前	変更後
4	2021年度から2023年度までの 3年間	2021年度から2024年度までの 4年間

< 理由 >

- ・ 知床遊覧船事故の影響により、2022年度に計画していた事業の多くが見送られた。
- ・ 2023年度に管理運営体制を大幅に変更することにより、試行・検討すべき項目が増えた。

3. 検討対象区域の変更

項目	変更前	変更後
6-(1)	上部区域	上下全域

< 理由 >

- ・ 2022年度の落石調査の結果、下部区域での「落石の恐れ」が指摘された。
- ・ 土地を借り受ける斜里町として、一般・自由・無制限での利用を認めたいと判断。
- ・ そのことは、2022/12/23 カムイワッカ部会、2023/2/1 エコツーリズム検討会議でも承認済。
- ・ 下部区域の利用を継続するには、当該事業での対象区域にする必要があると判断。

4. 対象区域の暫定的位置付け

項目	変更前	変更後
6-(3)	下部区域： 「親水アクティビティエリア」 上部区域： 「バックカントリー沢登りエリア」	上下全域： 「バックカントリー沢登りエリア」 緩やかなゾーニングの導入検討

< 理由 >

- ・ 下部区域で「落石の恐れ」が指摘されたため。
- ・ エリア内を緩やかにゾーニングすることで、情報提供に活用。

5. 試行事業の目標

項目	変更前	変更後
12-(1)	—	上下一体化に伴う変更対応、混乱防止、データ収集、検証等を加筆

< 理由 >

- ・ 現場運営の大幅変更への柔軟な対応や、混乱防止への留意等を特記的に記載。

6. 事前準備

項目	変更前	変更後
12-(2)	—	ゲートや看板等の現地整備を追記

< 理由 >

- ・ 現地運営の大幅変更に伴う整備の必要を追記。

7. 試行 A、B の期間

項目	変更前	変更後
13-(4)	<試行 A> ① 6/16～6/30 ② 7/19～8/5、8/16～9/16、の内 の指定日	<試行 A・B 共通> 7/1～10/1
14-(4)	<試行 B> ① 7/1～7/15 ② 7/19～7/22 or 8/22～8/26 ③ 9/30～10/2	

<理由>

- ・ 試行 A、B の期間の統一（分離する理由が消失）。
- ・ 下部区域の自由利用停止により、試行 B の期間を最大化することが必要。
- ・ 大幅な体制変更に伴う準備のため、2023 年度は 6 月を除外。

8. 協力金

項目	変更前	変更後
13-(8) 14-(5) -1	1 名あたり 1,000 円	(計画から金額を削除)

<理由>

- ・ 金額は、自立的運営を保持できる範囲で、事業主体で検討し設定する。
- ・ 収支計画との兼ね合いや、ヘルメット貸出損料、アクセス料金との調整の必要がある。

9. 試行 B による立入可能者の年齢

項目	変更前	変更後
14-(5) -1	中学生以上（12 歳以上）	小学生以上（6 歳以上）。 但し、小学生は保護者の同意・同伴、かつ、1 の滝下流側での利用を強く推奨

<理由>

- ・ 上下統合を踏まえ、保護者の同意・同伴があれば小学生を認めるが、事前周知・情報発信にあたって 1 の滝下流側での利用を強く推奨する。

10. 試行Bの1日あたりの利用人数

項目	変更前	変更後
14-(5) -1	1日：150名 1時間：30名	1時間：30名（多少の増加を許容） 1日：210名

< 理由 >

- ・ 9:00～16:00の7時間分の枠を置き、30名×7時間=210名とする。
- ・ そうしなければ、予約システムの構築や、利用者への説明が困難となる。
- ・ （元々は、「混雑感」を生じさせないために1時間30名と仮置きしたものと、レクチャー等で1日に受付対応できる上限として仮置きした150名とが、不整合となっていたもの。オンラインシステムの導入に1日の対応上限は上げられ、かつ、現地での混雑感1時間30名規定を保持することで、問題を生じさせないと推測。）

11. 試行Bの予約・申込・決済・受付・レクチャー

項目	変更前	変更後
14-(5)- 2,3	予約ファームによるレクチャー予約と、当日の自然センターによる受付・決済・レクチャー等	予約・決済・レクチャー・誓約等のオンラインシステム対応と、当日の自然センター対応の併用

< 理由 >

- ・ 人手不足や、繁忙期の自然センターでの受付対応の困難性を考慮し、オンラインシステムにより、現地・当日の対応を最大限軽減させる。

12. 現地管理体制

項目	変更前	変更後
13-(7)	試行Aの期間に補助員1名	試行A、B兼任で、合わせて3名程度
14-(6)	カムイワッカ橋：1名 1～2の滝付近：1名 3～4の滝付近：1名	カムイワッカ橋：1～2名（試行Aの補助を兼ねる） 1～4の滝付近：1～2名

< 理由 >

- ・ 試行A、Bの期間の統一により兼任可能となる。
- ・ 現地の状況に応じて、駐車場から入渓箇所には1～2名、川の中に1～2名を配置（上下一体化により、従前の規制ラインへの配置が不要となる）。
- ・ 利用者は、従前の半分以下となり、かつ、利用者の全員にリスク情報を共有できる。